

第46回

全国 障害者技能競技大会 (アビリンピック)

障害者技能競技大会 とは

本大会は、アビリンピックの愛称で親しまれ、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方に対する理解と認識を深め、その雇用の促進等を図ることを目的として開催しています。

参加資格

- ・原則、障害者手帳をお持ちの方
- ・2026年4月1日現在において15歳以上の方
- ・各都道府県知事からの推薦要件を満たしている方

機械CAD競技 とは

コンピュータ支援設計ツール(CAD)を駆使し正確な図面を作成します。組立図・部品図を読む、品物を立体的に把握、3次元CADツールを使ってモデルを作成した後、指示通りに作図、寸法記入などを行い、図面を完成させます。(参考：第45回全国大会)

2026年12月
4日~6日

愛知県国際展示場

【交通費・宿泊費は主催者が一部負担します】

お問い合わせ先

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)
各都道府県支部 高齢・障害者業務課
- 各都道府県人材開発主管課

<https://www.jeed.go.jp/disability/activities/abilympics/index.html>

全国大会の詳細については、公式サイトからご確認ください。

参加無料



詳しくは下記お問い合わせ先までご連絡ください

地方大会

地方アビリンピック(全国47都道府県で開催)の成績優秀者などが、都道府県知事の推薦により全国アビリンピックに参加します。

全国大会

全国アビリンピックは、昭和47年の大会創設以来、今年で46回目の開催を迎えます。原則として、毎年技能五輪全国大会とともに、全国の地方都市等で開催しています。

今回の第46回大会で予定している技能競技は全25種目です。

国際大会

国際アビリンピックは1981(昭和56)年の「国際障害者年」を記念して、国際リハビリテーション協会(RI)の国際会議における日本からの提案により第1回大会が東京で開催されました。以来、概ね4年に1度開催されています。

日本からは、全国アビリンピックの成績優秀者等から技能競技選手等をJEEDが派遣しています。

※全国大会で実施する全種目が派遣対象となるわけではありません。

